

# 協育NEWS

「協育」という波紋を拡げます

会報誌第42号  
2021年3月31日発行  
発行：NPO法人大分県協育アドバイザーネット

## 令和2年度ふるさと創生NPO活動応援事業補助事業の報告

理事長 中川忠宣

会員の皆様には、コロナ渦の中で多くの課題を抱えながら活動をされた1年だったと思います。平常の有り難さを感じた1年でもありました。さて、今年度は本NPOの主題に関わる事業として、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の推進に係る県の補助事業を受けて、県内の実態調査と各種資料の作成、研修会を行い多くの方からお礼のコメントをいただきました。

### 【作成資料】<HPに掲載>

- ①市町村実態報告書 ②Q&A資料の冊子 ③Q&Aの説明プレゼン「学校と地域の新たな協働（協育）」～一歩前進！Q（課題・質問）&A（アドバイス）～ ④「地域とともにある学校の推進」インタビュービデオの制作とDVDの作成 ⑤地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの一体的な取組みを目指した動画の作成 ⑥4研修会場の録画動画の作成 その他

### 【研修・交流会】

#### <別府市教育委員会実施>

- ① 1月15日（金） コーディネーター対象（13名）
- ② 2月3日（水） 教育委員会職員対象（16名）

#### <玖珠町教育委員会実施>

- ① 2月22日（月） 学校運営協議会委員・コーディネーター（22名）

#### <全県対象研修会>

「地域発活力・発展・安心デザイン実践交流会」（R3年2月27日：参加者：62名）



## 先行案内！

### 第39回 中国・四国・九州地区 生涯教育実践研究交流会 開催のご案内

期日：令和3年5月15日（土）・16日（日）開催予定

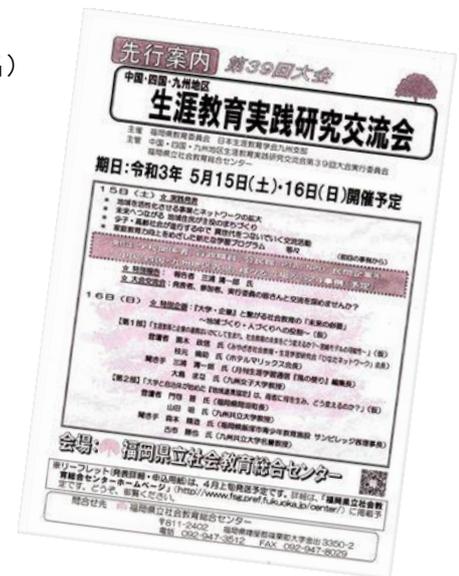
昨年は新型コロナの影響で中止となりましたが今年は開催を目指して動いています！

15日（土）の実践発表は各県様々な立場の活動から24事例を予定しているそうです、きっと皆さんの日々の活動のヒントがここにはあります。

ぜひ参加してみませんか？

4月以降に福岡県立社会教育総合センターHPから申し込みサイトが立ち上がります

サイトアドレス <http://fsg.pref.fukuoka.jp/center/>



## 事務局よりお知らせ

3月19日に理事会を開きました。今年度の活動報告、6月の総会開催について話し合いをしました。昨年は新型コロナの影響で理事4名での総会でしたが、6月の総会は会員の皆様を交えて開催します。総会日時は 6月12日（土曜日）会場は別府市男女共同参画センター「あす・べっぷ」で14:00から予定しています。総会後には昨年開催が出来なかった「語ろうよ会」も行いたいと考えています。会員の皆様には事前に総会の案内はがきが届きますのでしばらくお待ちください。

## 広報部よりお知らせ

昨年からの新型コロナの影響で満足な取材活動が出来ませんでした。今年度はワクチン接種も始まる様ですし会員の皆様の取材を精力的に行いたいと思っています。その際は是非ともご協力をお願いします。昨年暮れからHPの改修を行っています。もう少しで新しいサイトをアップ致しますので楽しみにしてください。



<2021年(R3年)>

## 第13回 地域発『活力・発展・安心』デザイン実践交流会を開催しました



本交流会は、「おおいた教育の日」の趣旨に賛同して、県教育委員会や県内の4つの市町村からの発表をいただきながら開催してきました。昨年度は新型コロナの関係で延期となり、今回が13回目となりました。近年、学校や家庭、地域における様々な取組みについて連携・協力が求められ、県内各地においても各種組織・団体が学校等で連携・協力した新しい取組みが行われています。特に、文部科学省及び県教育委員会においては、地域住民のネットワーク化による、地域と学校との協働を進めるシステムづくりのために、学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の導入と、地域学校協働本部の整備による地域学校協働活動を促進しています。今回も、62名の参加者が互いに交流することによって実践者自身が活動エネルギーを蓄える交流会を開催することが出来ました。

※今回は新型コロナの対策について参加者に、マスクの着用や受付での消毒と検温(事務局で準備)をお願いし、研修会場では密にならないように例年の2倍の広さの大会議場での開催などの配慮をしました。

### テ ー マ 地域と学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを語ろう

～地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの一体的な取組みを目指して～

主 催 NPO法人大分県協育アドバイザーネット/東国東地域デザイン会議/大分大学高等教育開発センター

会 場 「梅園の里」(国東市安岐町富清 2244) ☆梅が咲き誇る三浦梅園生誕の地～「梅園の里」～☆

期 日 令和3年(2021年)2月27日(土)

参加者 62名(教職員・コーディネーター・行政職員・地域住民・研究者等)

### <研究協議>

最後は岡田教授のファシリテートで以下のような様々な意見が出されました。

- ①学校運営協議会委員はコーディネーターのことを知らないという現状、コーディネーターは学校支援のことしか考えていないという現状があり、教育委員会が具体的な活動についての研修会を多く開いて欲しい。
- ②行政としては、コーディネーターと学校運営協議会を繋ぐ役割を積極的にすることが求められる。
- ③地域の企業とのネットワークや、PTAという組織の活用などを積極的に進めていく必要がある。等々

### ■参加者の学びや感想の紹介(研修会後のアンケートより)

多くの感想等をいただきましたが、それぞれの立場からの感想を紹介します。

(コーディネーター)「学ぶことが沢山ありすぎてどうしよう!」という感じです。基本的にはCSのあり方を教職員に徹底し、多くの教職員がコーディネーターを利用してくれるように情宣活動するのが一番だと思います。学校運営協議会と地域学校協働活動とをタイアップしてドンドン前に!

(教職員)「昨年からCSの学校のコーディネーターになり、地域の方々の活動を初めて知りました。今日の研修会に参加して、講師の話や協議の中での様々な立場からの意見を聞いて大変勉強になりました。「まず、出来ることから何かしよう!」という言葉に実践意欲がわきました。学校運営協議会に課題解決の方法を諮ること、学校運営協議会と教職員の議論の大切さなどが分かりました。深い学びをありがとうございました。

(学校運営協議会委員)学校だけ、地域だけでなく、両者の活動がかみ合うことの大切さを再確認できました。学校運営協議会委員として1年に1回は研修する必要があることがよく分かりました。

(教育委員会職員)各地区の実践発表はそれぞれの実態に応じて工夫された内容でした。学校・地域・御製の役割について改めて考えさせられました。また、活動を行う上ではスピードと有効性が必要であると感じました。そのためにも仕組みを整えることや、人材の確保をしていかなくてはならないと思います。本日の研修会、ありがとうございました。